

市民福祉委員会会議録

1. 開催年月日

令和4年12月14日 開会 10時00分 閉会 11時45分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

多賀 信 祥 上野 安 是 原 田 敬 久 荒 木 謙 二
三宅 文 雄 佐 藤 豊

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議 長 大 滝 文 則

(2) 説明員

副 市 長	猪 原 慎太郎	市民生活部長	久 安 伸 明
健康福祉部長	沖 津 幸 弘	市民生活部次長	藤 井 清 志
健康福祉部参与	谷 本 充 浩	芳 井 支 所 長	梶 井 克 也
美星支所長	藤 井 義 信	市民活動推進課長	毛 利 恵 子
子育て支援課長	片 山 恭 一	健康医療課長	中 新 純 史
環境企画課長	朝 原 博 幸	健康福祉部参事	川 上 益 史
甲南保育園長	阪 谷 佳 美	芳井保育園長	三 宅 弘 美
病院事務部事務長	亀 田 博 行	病院総務課長	松 山 昌 史
総務課長補佐	西 本 晴 雄	福祉課長補佐	藤 田 昌 巳
子育て支援課長補佐	大 塚 健	戸籍住民係長	片 山 麻 理

(3) 事務局職員

事 務 局 長	和 田 広 志	次 長	藤 井 隆 史
主 任 主 事	中 畠 大 輔		

6. 傍聴者

- (1) 議員 沖久教人、三宅孝之、柳原英子、山下憲雄、西村慎次郎、坊野公治
- (2) 一般 0名
- (3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（多賀信祥君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから市民福祉委員会を開会いたします。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さんおはようございます。

12月も中旬ということで、寒くなってきました。今日はそれこそ朝の気温と日中の気温があまり変わらないというような予報も出ております。また、明日からさらに寒くなると。週末あたりは最低気温が氷点下になるのではといった予報も出ているところであります。くれぐれもお体をご自愛いただきたいと思います。

また、ここへ来まして新型コロナウイルス感染症がまた第8波ということで感染者数が増えてきております。全数調査を岡山県はやめていますので、1日当たりの井原市の感染者数をつかむことはできないんですけれども、保育園・幼稚園・学校関係は報告が入ってきますので、そこだけの数は把握できます。それも相当増えていますので、全体も相当数、感染者が出ているものということは推測されるような状況でありますし、また職員の感染者もここに来て増えてきております。とにかくワクチン接種、重症化しないためのワクチン接種、それから基本的な感染防止対策の徹底で感染防止に努めていくしかないと思っております。

ここで、マイナンバーカードの情報について少しお知らせしたいと思っております。

マイナンバーカードの交付率であります。11月末時点を申し上げます。井原市の交付率は51.3%であります。参考までに、岡山県が53.4%、全国平均が53.9%ということで、残念ながら県平均、全国平均ともに井原市は下回っているという状況であります。

それから、12月8日の新聞報道の中で、国は、来年度からデジタル田園都市国家構想交付金というものを始めるということが出ておまして、その受給要件がマイナンバーカードの交付率ではなくて申請率、要は手元にはまだ来ていないけれども申請しているということの申請率が53.9%以上の自治体が申し込むことができるということが報道されておりました。これは11月末日現在ということなんです。本市の11月末現在の申請率は57.14%ということですので、この交付金へエントリーする資格は何とかクリアできてい

るという状況であります。

以上、マイナンバーカードについてお知らせをさせていただきました。

本日は市民福祉委員会を開催をいただきました。皆様方におかれましては、何かとご多用の中、お繰り合わせ、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は執行部からの報告事項が2件、それから所管事務調査事項が1件でございます。皆様方には様々な角度からご意見をいただきたいと思っております。

なお、お手元に本定例会報告事項をお配りをしております。後ほどお目通しいただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

〈議長あいさつ〉

委員長（多賀信祥君） 本定例会において本委員会に付託された案件はございません。

〈所管事務に関する執行部からの報告〉

委員長（多賀信祥君） 本日の報告事項は、井原市国民健康保険事業特別会計（保険事業勘定）の状況について、出部地区放課後児童クラブ環境整備事業（子ども・子育て支援交付金）についてであります。

〈井原市国民健康保険事業特別会計（保険事業勘定）の状況について〉

〈なし〉

〈出部地区放課後児童クラブ環境整備事業（子ども・子育て支援交付金）について〉

委員（三宅文雄君） ただいま出部地区の放課後児童クラブ環境整備事業について担当課のほうから説明いただきました。

その内容については理解するんですけども、本件については補正予算で計上されております。担当の委員会の所管の範囲内というか、あらかじめ市民福祉委員会で報告されたということで、本日この会場には傍聴議員と我々市民福祉委員会の委員だけしかいないんですけども、今言われたことは予算委員会で同じことを言われますか。

子育て支援課長（片山恭一君） 予算につきましても、数字、金額的なものだけでは説明

が足りないと思ひまして、このたび市民福祉委員会に諮っていただいたところでございます。予算決算委員会につきましても同様に詳細な説明をさせていただければと思っております。

委員（三宅文雄君） それは分かるんですけども、あらかじめ委員の皆様方に知ってほしいという、こういう経緯で補正予算に上げさせていただいたということだけで、我々が内容を説明されたことに対して、報告だけであって、質問はできないですよ、我々は。ということは、本件については補正予算の範疇のことであろうと思ひます。

〈休憩〉

〈なし〉

委員長（多賀信祥君） 以上で所管事務に関する執行部からの報告は終わります。

〈所管事務調査〉

委員長（多賀信祥君） 本日の所管事務調査事項は、保育園・放課後児童クラブの監査・指導についてであります。

このほかに、不測の事態により緊急に所管調査事項として追加すべきと思われる提案がございましたらご発言願ひます。

〈なし〉

〈保育園・放課後児童クラブの監査・指導について〉

委員（佐藤 豊君） 報道等々で、保育士さんの負担が多かったからそういった方向に流されたんじゃないかというような報道もあるんですけども。市内の保育所、幼稚園等々、人数的にはそんなに多くの園児はおられないと思うんですけども、市内では、保育士の配置、ゼロ歳児には何人、2歳以上には何人という配置基準があると思うんですけど、それは満たされて適正な運営がなされているのか、その辺を教えていただければと思うんですが。

子育て支援課長（片山恭一君） 保育士の配置基準につきましては、国の定めるとおりに満たされております。

委員（三宅文雄君） 先ほど国の基準を満たされておるといふような答弁であったかと思えますけれども、国の基準についてどういった基準になっているか、もう一回確認させてもらえますか。

子育て支援課長（片山恭一君） 人的基準を申し上げますと、ゼロ歳児ですと1人の保育士さんが見れる児童は3人まで、1歳児、2歳児ですと6人まで、3歳児が20人まで、4歳児、5歳児が30人までとなっております。

また、すいません、手持ち資料がないんですが、保育に係る施設の面積も定められております。

委員（三宅文雄君） 国における配置基準につきましては、大体今言われた数字ではないかなというふうに思いますが、保育士さんの3人、6人とかという人数は正規の職員ですか、それともパートの方も含めての数字になりますか。

子育て支援課長（片山恭一君） 保育士には、正規職員と、公立保育園ですけど、会計年度任用職員とおります。あわせて、時間帯によって保育士が確保されているということの考え方でっております。

委員（三宅文雄君） ということは、要するに会計年度任用職員を含め、常時、ゼロ歳から1歳については3人の保育士さんがついていてという理解でよろしいんですか。

子育て支援課長（片山恭一君） そのとおりでございます。

委員（三宅文雄君） それから、保育所がそれぞれ市内に7か所あります。それで、正規の保育士の方とそれから先ほど言われた会計年度任用職員、公的な場合はそうなんですけれども、民間施設の場合はどういうふうな保育士さんの割合というか、把握をされてますか。

子育て支援課長（片山恭一君） 私立保育園の保育士さんの常勤あるいは非常勤の区分と申しますか、そういった割合というお尋ねだと思うんですが、すいません、今、手元に資料を持ち合わせておりませんので、どうでしょうか。後ほどの回答でよろしいでしょうか。申し訳ありません。

委員（三宅文雄君） 実は、私が財政援助団体の監査をせんだってやりまして、それでちょっと感じたことは、パートの方が意外と多いなというふうな感じがしたんですよ。もしも事があった時に責任の所在というのは、要するに園でそれは責任を持たれるんだと思えますけれども、パートの方っていうのは、担当されている子供さんに対してもいろいろな方が関わってくるようなことになるかと思うので。そこら辺を市としてもどういった割合で運営がなされているかということもしっかり把握しとく必要があるのではないかなというふうに感じましたので、その点をお願いというか、指導していただくというのか、お願いしたい

というふうに思うんです。

それから、もう一点、よろしいですか。

委員長（多賀信祥君） どうぞ。

委員（三宅文雄君） バスの置き去りの問題がありましたよね。そういったことについては、あの事件があつてから、それぞれ市内にもバスを利用されている保育園もあろうかと思うんですけれども、指導はどういうふうにされたんでしょうか。

子育て支援課長（片山恭一君） バスにつきましては、市内保育園で送迎にバスを使っている保育園はございません。ですが、保育園の園長会等で、こういったことが保育全体のことに関わる重大な案件だということで、そういった人為的ミスとってよろしいか、そういうことはないよということ再度確認を行われたところでございます。

委員（三宅文雄君） それから、もう一点お聞きしたいんですけれども、後からもう一回言います。

委員（原田敬久君） 先ほど子供たちに対する国の基準を満たしているとおっしゃいましたよね。記憶に間違いがなければ、昭和22年、1947年からこの基準は全く変わってないんですよ。想像してもらいたいんですが、3歳児のお子さんをたった1人で見ると。これは不可能ですよ。元気な子供たちを。

そこで、意見としてお願いしたいんですが、国の基準にとらわれずに、もっと柔軟に対応して保育士さんを増やすという、非正規雇用者に頼らざるを得ないかもしれませんけれど、お考えをいただければと思います。

委員（三宅文雄君） すいません、度々申し訳ないです。このたびの虐待の事案が保育園の問題として出たんですけれども、保育園の中でこういったようなことが起きていますというようなことは、同僚からはなかなか言えないと思うんです。恐らく保護者の方が市の子育て支援課のほうへ言うてこられたかと思うんですけれども、そういった事案というのは今まであったかどうか、どのぐらいあったか、もし記録があれば。予防するためにも、保育士の指導をされているかと思うんですけれども、この前起きたような事案に相当するような、保護者から自分の子供がこういったことをあそこの保育園で受けたとか、言われたことがあったとかというふうな、指導してくれとかというふうなことがあったのかどうか、その点。

子育て支援課長（片山恭一君） 保護者の方から市役所子育て支援課のほうにお尋ねがあったかというようなことでございますが、詳細な件数は今持っておりませんが、直近1年で私が聞いたのは1件。それは、ちょっとあざがあつて、保育士さんとお話をして、あざがあつた、保育士さんからこういう説明を受けた、市はそれを把握しているかと、聞いておりますけれども再度確認しますといった事例で、保護者の方もそれならよろしいですと言われ

たことはございました。ほかの案件としては伺ったものはございません。

委員（荒木謙二君） 12月6日に厚労省が自治体あるいは保育園に虐待に関する調査を行うというふうな報道があったと思います。それについて、もう市のほうにはその調査内容等々は届いていますか。年内にというふうなことであったとは思いますが。

子育て支援課長（片山恭一君） 調査内容についての詳細というのはまだ伺っておりません。

委員（荒木謙二君） 年内に調査というふうなことのようなんですが、まだ届いてないというふうなことで。

先ほど聞きました、1年に1件の事案があったというふうなことであります。そのようなことの報告になろうかと思うんですが、適切に対応ができていくかどうかというふうな、多分、調査内容であろうという、新聞の内容でありますので、事案がさほどないのであればよいんですが、あったときの場合の対応というふうなことも今後もしっかりと努めていただきたいというふうなことで、私は終わらせていただきます。

〈なし〉

委員長（多賀信祥君） ここで執行部の方にはご退席願いたいと思いますが、何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 終わりに当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、長時間にわたりまして様々なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日の所管事務調査は、それこそ静岡県裾野市の保育園で起きた虐待のことを気にされて取り上げていただいたものと思っております。井原市においてもそういうことが起こっても不思議ではないわけでありまして、それを防ぐためには常日頃からしっかりと井原市がリーダーシップを取って、私立の保育園とも研修をするなり議論する場を設けるなりして未然に防いでいきたいとも思っておりますし。今回の何が問題かという、要はそのことを隠蔽していたというか、外に出さない、ずっと中で持っていたことが一番問題であり、問題を深刻にさせた原因と思っております。そういったことがないように常日頃からしっかりと努めていきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

委員長（多賀信祥君） 執行部の皆さんには大変ご苦労さまでした。

〈執行部退席〉

委員長（多賀信祥君） 所管事務調査事項の保育園・放課後児童クラブの監査・指導について、今後の進め方を委員皆さんにご協議いただきたいと思います。

説明のあった事項、また追加調査すべき事項の有無等々、ご意見をいただきたいと思います。ご発言をお願いいたします。今後、継続して調査をするかどうかも含め、ご意見を願います。

委員（荒木謙二君） 今回限りで結構だと。また緊急の事態があれば上げれば良いと思いますので、たちまちは今回限りと。

委員長（多賀信祥君） 保育園・放課後児童クラブの監査・指導についての所管事務調査については、今回のみで打切りということでご意見が出ましたが、よろしいでしょうか。

委員（佐藤 豊君） 監査、もう一回言ってもらえます。今どう言われたんですか。

委員長（多賀信祥君） 先ほど執行部から説明を受けた、今回、我々委員会で提出をした所管事務調査事項の継続調査をするかどうかを含め。

委員（佐藤 豊君） それはなしで結構です。

〈異議なし〉

委員長（多賀信祥君） それでは、保育園・放課後児童クラブの監査・指導については、今回のみの所管事務調査ということで決定をさせていただきます。

〈放課後児童健全育成事業について〉

〈アンケート調査の結果を確認し調査報告書の作成について協議、修正等を行い次回確認することに決定。〉

〈その他〉

委員長（多賀信祥君） こちらからは特にございませんが、委員皆さんから何かございましたらよろしく願います。

〈なし〉

〈議長あいさつ〉

委員長（多賀信祥君） 以上で市民福祉委員会を閉会いたします。ありがとうございました。